

贈りたい 大賞

—大切な人に贈りたい1冊—

大賞受賞作

令和2年度 やまなし読書活動促進事業

音楽や映画は、大勢の人と一緒に楽しむことができます。テレビもスポーツ観戦も、友だちと一緒に楽しむことができます。ところが、読書だけは、一人だけですることです。それが読書の良さでもあります。一人で読んでいたのでは、ほんとうに本を分かったことになるでしょうか。大好きなあの人は、この本を読んだらどんなことを考えるのだろう。同じ本を読んでもらいたい。そうすれば、その本のことが深くわかるだけでなく、その人のことがもっと分かり合えるようになるのではないのでしょうか。

山梨県立図書館 館長 金田一秀穂



山梨県立図書館

〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8-1

TEL 055-255-1040 / FAX 055-255-1042

<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/> 令和2年11月5日発行

大切な人に本を贈ることは、あなたの“想い”を伝えること。

本は、あなたと贈られた人との心を通い合わせ、絆を深めます。
愛する人へ、大切な家族へ、可愛い孫へ、かけがえのない友へ……。
もしあなたが様々な場面で、大切な人に本を贈るとしたら、
どんな本を、どのような理由で選んで贈りますか？

応募総数 4,502 点。みなさまからいただいた、たくさんの“想い”。
さまざまな“想い”を、ありがとうございました。



姉へ

川村 萌々 さん（甲府城西高等学校）

『このママにきーめた！』
のぶみ／さく サンマーク出版

二歳の子どもを育てている姉に贈りたいです。「こんな私でいいのかな」と悩んだ時、少しでも励みにでもなればと思い選びました。育児に頑張りすぎて辛い中「ママを選んで生まれてきたんだよ」と寄り添って勇気づけられる絵本です。毎日一生懸命に子育てをしている姉の背中を押せばいいなと思います。

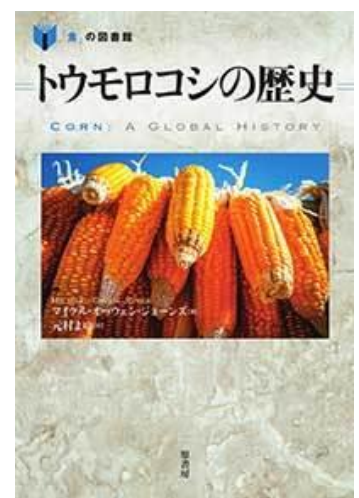


おじいちゃんへ

都築 穂夏 さん（青洲高等学校）

『「食」の図書館 トウモロコシの歴史』
マイケル・オーウェン・ジョーンズ／著 原書房

毎年、おいしいトウモロコシを作ってくれるおじいちゃん。家族のみんながおじいちゃんをつくるトウモロコシが大好きです。今でも十分おいしいのに、もっともっとおいしいトウモロコシが作りたい、トウモロコシのことを知りたいと言っているのがこの本にしました。そして、これからも一緒においしいトウモロコシを作りたいです。



お父さんへ

山岸 まりあ さん（笛吹高等学校）

「パパミルク」 小川 糸／著

（幻冬舎文庫『スタートライン

始まりをめぐる19の物語』所収）

パパミルクは、国語の授業で出会った本です。読んだ瞬間私の家庭環境と同じだと思いました。父は男手1つで私の事を育ててくれました。父には面と向かって言うには恥ずかしくて自分の気持ちを伝えることができないので、このパパミルクを読み、娘の気持ちを知ってほしいと思いました。日頃の感謝を込めてこの本を贈ります。

甥（6才）へ

小野 愛実 さん

『11ぴきのねこ』 馬場 のぼる／作 こぐま社

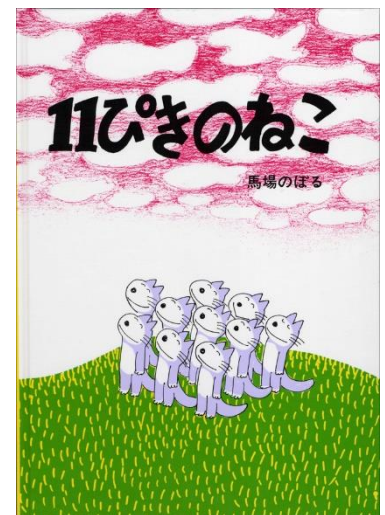
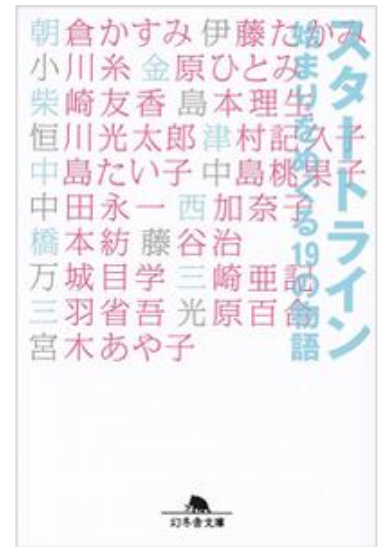
私が小学生の時から大好きな本です。風の吹くまま、気の向くまま11ぴきのねこたちが行く先々で起こす出来事に、夢中でページをめくりました。ちょうど今年の4月に小学生となった甥に、本を読む楽しさを知るきっかけとして、この絵本を贈りたいです。とらねこたいしょうたちと、心躍る絵本の旅を楽しんでほしいです。

息子へ

樋口 信也 さん

『散り椿』 葉室 麟／著 KADOKAWA／角川文庫

上役の不正を訴え藩を追われた男が、病気の妻の最後の願いで藩に帰った。亡き妻のために、藩のために、守るべきもののために、男はかつての親友とも対峙していく。人のためにまっすぐ生きる男の生き様には、現代の日本人がなくしつつあるものがある。人として正しく美しく生きるとはどういうことが、この本で感じてほしい。



贈りたい本大賞 優秀賞

- 安田 喜希さん(北中学校)「友達のまいちゃんへ」『モナミは世界を終わらせる?』(はやみね かおる/著 角川文庫)
- 高石 唯さん(白根巨摩中学校)「お母さんへ」『ひとりて頑張る自分』を休ませる本』(大嶋 信頼/著 大和書房)
- 内藤 優里さん(甲西中学校)「同じ部活の同級生たちへ」『島はぼくらと』(辻村 深月/著 講談社文庫)
- 藤谷 真奈美さん(春日居中学校)「医療関係の方々へ」『旅するウサギ』(竹下 文子/作 小峰書店)
- 遠藤 真歩さん(南部中学校)「自分に自信が無い人へ」
『私は私のままで生きることにした』(キム・スヒョン/著 ワニブックス)
- 大森 心咲さん(山梨大学教育学部附属中学校)「元南アルプスホッケースポーツ少年団のチームメイト達へ」
『あと少し、もう少し』(瀬尾 まいこ/著 新潮文庫)
- 田端 さくらさん(北杜高校)「弟へ」『羅生門・鼻』(芥川龍之介/著 新潮文庫)
- 小池 和佳菜さん(北杜高校)「両親へ」『そして、バトンは渡された』(瀬尾 まいこ/著 文藝春秋)
- 田添 莉明さん(韮崎高校)「母へ」『ディズニー サービスの神様が教えてくれたこと』(鎌田 洋/著 SBクリエイティブ)
- 樋口 祐樹さん(韮崎工業高校)「いもうとへ」『使える!「国語」の考え方』(橋本 陽介/著 ちくま新書)
- 吉澤 愛玖さん(韮崎工業高校)「姉へ」『人魚の眠る家』(東野 圭吾/著 幻冬舎文庫)
- 齊藤 千佳さん(甲府西高校)「14歳になる弟へ」『14歳の君へ どう考えどう生きるか』(池田 晶子/著 毎日新聞社)
- 渡邊 奈々帆さん(甲府西高校)「母へ」『弁当屋さんのおもてなし』(喜多 みどり/著 角川文庫)
- 原 花野さん(甲府西高校)「対人関係に悩みを持つあなたへ」『ころべばいいのに』(ヨシタケ シンスケ/作 ブロンズ新社)
- 岩崎 杏さん(甲府東高校)「人間関係で悩む学生へ」『かがみの孤城』(辻村 深月/著 ポプラ社)
- 藤沢 菜々子さん(甲府城西高校)「障害を持っている人へ」『レインツリーの国』(有川 浩/著 新潮文庫)
- 堀内 銀河さん(甲府昭和高校)「友達へ」『君の臍臓をたべたい』(住野 よる/著 双葉社)
- 塩澤 羽月さん(甲府昭和高校)「家族へ」『ありがとうがしりたくて』(菊田 まりこ/著 キノブックス)
- 三井 ありささん(白根高校)「バスケ部の後輩へ」『走れ! T校バスケット部』(松崎 洋/著 幻冬舎文庫)
- 小林 凜さん(笛吹高校)「悩みを抱えている人へ」『私は私のままで生きることにした』(キム・スヒョン/著 ワニブックス)
- 野沢 日菜多さん(山梨高校)「生きる意味を探す人へ」
『今日が人生最後の日だと思って生きなさい』(小澤 竹俊/著 アスコム)
- 橋田 恵里香さん(山梨高校)「夢を持つ人へ」『芸人交換日記~イエローハーツの物語~』(鈴木 おさむ/著 太田出版)
- 川崎 結舞さん(甲府商業高校)「親友へ」『世界は「」』はで満ちている』(櫻 いいよ/著 PHP研究所)
- 渡邊 瑠奈さん(甲府商業高校)「母へ」『うまれてきてくれてありがとう』(にしもと よう/ぶん 黒井 健/え 童心社)
- 下村 未来さん(一般)「友達へ」『流浪の月』(凧良 ゆう/著 東京創元社)
- 樋川 真子さん(一般)「他県で教師をしている友人へ」『せんせい。』(重松 清/著 新潮文庫)
- 山本 紫苑さん(一般)「母へ」『七・五・三きょうだい』(なかえ よしを/作 教育画劇)
- 和田 あずささん(一般)「双子の甥っ子・姪っ子へ」『はみがきれっしやしゅっぱつしんこう!』(くぼ まちこ/著 アリス館)

学校賞

金田一秀穂館長賞 山梨県立山梨高等学校

上野原市立島田小学校 上野原市立秋山小学校

甲斐市立竜王北中学校 中央市立田富中学校 南部町立南部中学校

山梨県立北杜高等学校 山梨県立青洲高等学校